

## 第6編苦情申し立てフォーム

1964年制定の公民権法の第6編では「米国ではいかなる人種、肌の色、または出身国を理由として、連邦財政援助を受けているプログラムや活動の下で、参加から除外されたり、利益を拒否されたり、差別を受けたりしてはならない。」と定められています。

苦情を処理するにあたっては、以下の情報が必要になります。この用紙の記入についてサポートが必要な場合は、ご連絡ください。

この用紙をすべて記入し、顧客支援部門のカルフォルニア州 95812 サクラメント P.O.Box 2110 宛てに返送されるか、直接、カルフォルニア州 95811 サクラメント R通り 1221 に提出してください。

1. 申立人の氏名: \_\_\_\_\_

2. 住所: \_\_\_\_\_

3. 都市: \_\_\_\_\_ 州: \_\_\_\_\_ 郵便番号: \_\_\_\_\_

4. 連絡先: \_\_\_\_\_ 携帯電話番号 \_\_\_\_\_ 自宅 \_\_\_\_\_ 勤務先 \_\_\_\_\_

5. 差別を受けた者（申立人以外の場合）:

氏名: \_\_\_\_\_

住所: \_\_\_\_\_

都市: \_\_\_\_\_ 州: \_\_\_\_\_ 郵便番号: \_\_\_\_\_

6. 次のうち、差別が発生したと考える理由を最もよく表しているものはどれですか？

その理由とは、:

a. 人種: \_\_\_\_\_

b. 肌の色: \_\_\_\_\_

c. 出身国: \_\_\_\_\_

7. 差別の申し立てはいつ行われましたか？

\_\_\_\_\_

次項へ続く →

8. ご自身の言葉で、差別の申し立てについて説明してください。何が起きたのか、誰に責任があると思うかについて説明してください。追加のスペースが必要な場合は、この用紙の裏面にご記入ください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

9. この苦情を連邦、州立、地方の機関や裁判所へ提出されたことがありますか？

はい \_\_\_\_\_ いいえ \_\_\_\_\_

「はい」の場合は、該当するものすべてにチェックを入れてください。：

連邦機関 \_\_\_\_\_ 連邦裁判所 \_\_\_\_\_ 州の機関 \_\_\_\_\_  
州の裁判所 \_\_\_\_\_ 地方機関 \_\_\_\_\_

10. 苦情が提出された機関/裁判所の担当者に関する情報について記入してください。

氏名 \_\_\_\_\_

住所: \_\_\_\_\_ 都市: \_\_\_\_\_

州: \_\_\_\_\_ 郵便番号: \_\_\_\_\_ 電話番号: \_\_\_\_\_

11. 下記に署名してください。苦情に関する資料や他の情報を添付することもできます。

\_\_\_\_\_  
申立人による署名

\_\_\_\_\_  
日付